



資料 3 - 6

サイバーセキュリティ分野における 世界銀行の途上国向け能力構築支援

2024年3月13日
世界銀行デジタル開発局



世界銀行とは



デジタル開発の取組



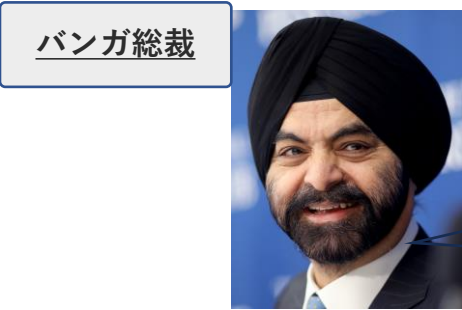
能力構築支援

世界銀行の概要



	IBRD 国際復興開発銀行 (世界銀行本体) 1944年設立	IDA 国際開発協会 1960年設立	IFC 国際金融公社 (ディオップ長官) 1956年設立	MIGA 多数国間 投資保証機関 (俣野長官) 1988年設立
目的	住みやすい地球上での貧困削減・繁栄の共有 (To end extreme poverty and boost prosperity on a livable planet)			
対象国	中所得国	最貧国 (アフリカ・太平洋島国など75か国)	途上国に投資する民間企業	途上国に投資する民間企業
支援	政府向け融資 (1950~60年代、東海道新幹線や東名・名神高速等の建設資金を融資)	政府向け低利融資・無償 (グラント) IFC・MIGAとの連携による民間向け支援	企業への出資 企業への融資 政策アドバイス	政治リスクの保証 信用補完

ICSID
投資紛争解決国際センター
1966年設立
(国際投資紛争の調停・仲裁)



5つの柱 (vertical) : 人 (People) , 繁栄 (Prosperity) 、地球 (Planet) 、インフラ (Infrastructure) 、**デジタル (Digital)**

デジタル開発局の取組

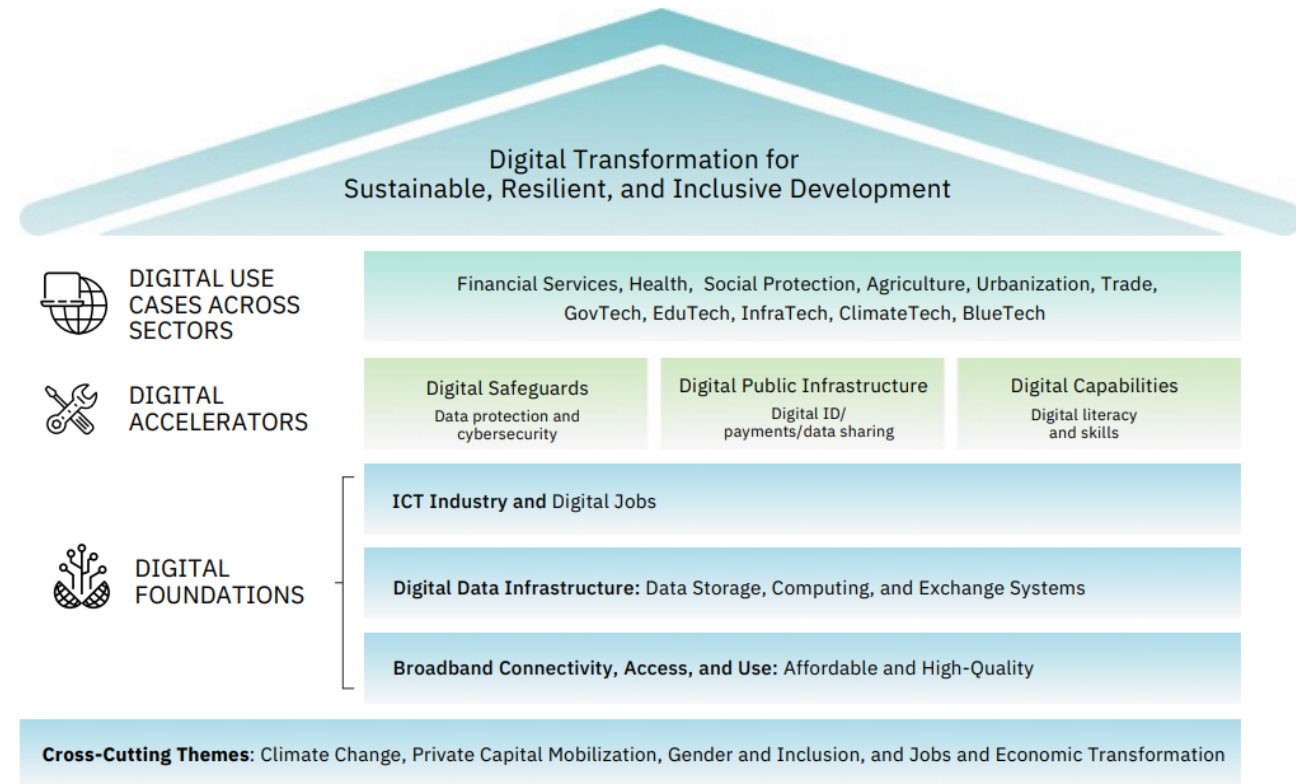


- 持続可能で強靱な、包摂的な開発に向けたデジタルトランスフォーメーション

- デジタル基盤（ブロードバンド等）
- デジタル化の加速（**サイバーセキュリティ**等）
- 分野横断的なデジタルユースケース



「デジタル開発パートナーシップ」を通じた支援



サイバーセキュリティに関する世界銀行の取組



課題

- サイバーセキュリティへのガバナンス等の脆弱性
- 重要インフラ防護の脆弱性
- インシデント対応への限られた能力
- サイバー攻撃等への対応に関する限られた能力
- サイバーセキュリティのスキル・啓発の限界
- サイバー産業等の脆弱性
- 国際的な連携不足



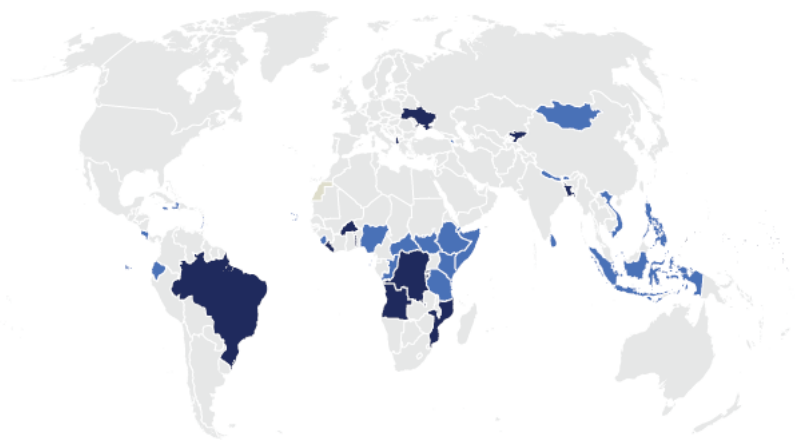
結果

- ガバナンス等の強化
- リスク緩和・重要インフラ防護の拡大
- インシデント対応の向上
- サイバー攻撃等への対応の環境整備
- より強固で包摂的なサイバーセキュリティのスキル・啓発
- サイバー産業の強化
- 国際連携の強化



サイバーセキュリティ
マルチドナー信託基金

これまでの支援実績



● Year 1
● Year 2

East Asia and Pacific (EAP)

- Indonesia
- Mongolia
- Philippines
- Viet Nam
- Kiribati
- Samoa
- North Pacific

South Asia (SAR)

- Bhutan
- Nepal
- Sri Lanka
- Bangladesh

Europe and Central Asia (ECA)

- Armenia
- Albania
- Kyrgyz Republic
- Ukraine

Eastern and Southern Africa (AFE)

- East Africa
- Sao Tome and Principe
- Tanzania
- Angola
- Burundi
- Democratic Republic of Congo
- Mozambique
- Rwanda

Western and Central Africa (AFW)

- Cabo Verde
- Central African Republic
- Nigeria
- Republic of Congo
- Sierra Leone
- Burkina Faso
- Liberia
- Togo

Middle East and North Africa (MENA)

- Djibouti

Latin America and Caribbean (LAC)


- Caribbean
- Costa Rica
- Ecuador
- Brazil


アジア・アフリカ地域を中心に、サイバーセキュリティ**環境整備・スキル開発/啓発・重要インフラ防護**等の取り組みを推進。


Topic	Global	East Asia and Pacific (EAP)	South Asia (SAR)	Europe and Central Asia (ECA)	Eastern and Southern Africa (AFE)	Western and Central Africa (AFW)	Middle East and North Africa (MENA)	Latin America and the Caribbean (LAC)	Total
Enabling Environment	4	3	3	1	1	4		2	18
CII Protection	4	3	3	1		1		1	13
Incidence Response	3				1	1			5
Skills and Awareness	4	2	2		3	3	1	1	16
Industry and Private Sector	3	1	2			1		1	8
Regional Cooperation	2				1			1	4


サイバーセキュリティ能力開発関連の事例



 **インドネシア**政府が進めるサイバーセキュリティ対策の一環として、**情報システムの設計・開発・運用に関わる政府機関向けの技術支援や能力向上の取り組みを実施。**


 **スリランカ**政府のサイバーセキュリティ対策の向上の一環として、サイバーセキュリティのガバナンス枠組みの向上や次世代サイバーセキュリティ戦略の設計のための支援と合わせて、**重要インフラ防護のためのリスクや緩和策の特定のための能力開発支援を実施。**


 **ナイジェリア**のサイバーセキュリティの推進に当たって課題となっている**関係機関間の調整やステークホルダー間の協調推進**の観点から、サイバーセキュリティの啓発やスキル向上等を含めたワークショップを実施。

 **シエラレオネ**の「デジタルトランスフォーメーション計画」推進の一環として、**インシデント監視や報告の標準化等に関するナショナルCIRTとセクターCIRTの協調やガバナンスメカニズムの構築支援**を目的とした技術支援を実施。

サイバーセキュリティ能力開発関連の事例



 2022年の大規模なランサムウェア攻撃を受け、**コスタリカ**政府に対し、**ナレッジの提供**や**カスタム化した技術支援・能力開発**活動を実施し、サイバー危機管理、ビジネス継続性、攻撃からの回復等を含めた「緊急対応プラン」に対応。

 世界銀行主催によるGlobal Digital Summitの中で、**多くのクライアント国**を対象として、サイバーセキュリティ対策に向けた世銀の取り組み等を通じた**能力開発の重要性や事例等**について紹介。

- **各国の情勢やニーズ**に合わせて、必要な能力開発事業を実施
- **複数国が参加するイベント**等も活用した**多層的な取り組み**を実施

日本と世界銀行との連携事業



- **第1回Cybersecurity Study Tour in Tokyo (2019年3月)**

- ASEAN加盟国及び南アジア政府関係者向けのスタディツアー
- 総務省・NISC・ICT-ISACによる我が国のサイバーセキュリティ政策等紹介のほか、NICTや民間企業6社を視察。

- **第2回Cybersecurity Study Tour in Tokyo (2019年9月)**

- ASEAN加盟国及びインド政府関係者向けのスタディツアー
- 総務省・NISC・NICTによる我が国のサイバーセキュリティ政策等紹介のほか、インシデントハンドリングに関するケーススタディ（参加者と講師の討論）、机上演習や民間企業4社の視察を実施。

今後の日本との連携に向けて



日本が有する技術

- ・ 企業の取り組み
- ・ NICTなどの研究開発動向



政策動向

- ・ 戦略的な取り組み
- ・ 重点分野等への対応



グローバルな啓発活動

- ・ サイバーセキュリティ対策の必要性
- ・ 二国間・多国間での政策協調



ご清聴ありがとうございました